

令和 6 年度 社会福祉法人淳邦会 事業報告

特別養護老人ホーム のぞみ荘

地域密着型特別養護老人ホーム のぞみ荘

ケアハウス オパール

デイサービスセンター オパール

オパール居宅介護支援事業所

福田高齢者支援サブセンター

グループホーム ひなぎく

育成推進室

令和6年度 事業報告

特別養護老人ホーム のぞみ荘
(ショートステイを含む)

・利用者の意思を尊重した質の高いサービスを提供する

日々のコミュニケーションや事故予防、感染予防、健康観察に重点をおいて安全で安定した生活が送れるよう支援を行った。

制限ある中での面会ではあるが、面会時には家族との連携強化を図り信頼関係を構築できるよう取り組んだ。

事故においてはリスク委員会を中心にした情報共有と研修開催で予防に努めた。

感染対策において、新型コロナウイルス罹患者については職員数名発症したが利用者の感染者は1名のみであった。しかし令和6年度末から令和7年度初めの3月から4月にかけて特養4階において感染性胃腸炎の感染拡大があり利用者職員合わせて20名程度罹患した。感染性胃腸炎に対する職員の認識不足及び感染対策が不十分であったことが要因であった。今後の感染対策を職員全体で取り組んでいきたい。

最適なサービスの提供においては、人員不足の中多職種で協力し、ケアプランを継続的に見直し実施につなげた。

看取り介護においては、入所者や家族の意向に沿って看取り介護加算を、2事例取得することができた。

・地域福祉の拠点となる活動を実施する

感染対策を実施した中で、実習生の受入れを行った。

地域の関係機関と連携し、緊急の対応も柔軟に行った。

・優秀な福祉人材を育成する

研修については、外部の研修はWeb研修を活用するなどして参加することができた。また外部から講師を招き施設内での研修や、委員会主導の研修を計画的に実施した。

・人が活きる職場環境を整備する

令和6年度においても職場環境の改善策として電動ベッドを増加導入し、労働環境の改善を図った。

・安定した経営を継続する

平均稼働率は93.6%（目標95%、令和5年度実績^{92.6}93.6%）と目標には届かなかったが、昨年度に比べ1%の微増であった。また空床数も昨年度に比べ72日減少することができ、今後もスムーズな入所が出来るように、次候補の確保に努めたい。

ショートステイは52.4%（目標50%、令和5年度実績44.5%）と目標を達成し、昨年度に比べ8%の大幅な増加となった。

- ・業務管理体制（法令等遵守）を徹底する

尊厳の視点に立って、虐待防止においては研修の実施、身体拘束はゼロ、不適切ケアにおいても研修等で振返りを行なうことで、権利擁護に努めた。

安全対策においては消防避難訓練を実施、福祉避難所においては台風時期に速やかに受入数を報告するなど柔軟に対応した。

地域密着型特別養護老人ホーム のぞみ荘

・利用者の意思を尊重した質の高いサービスを提供する

日々のコミュニケーションや事故予防、感染予防、健康観察に重点をおいて安全で安定した生活が入居者のペースで送れるよう支援を行った。

制限ある中での面会ではあるが、面会時には家族との連携強化を図り信頼関係を構築できるよう取り組んだ。また、居室の整備に努め心地いい環境づくりを継続するとともに、定期的なミーティングで対応をこまめに検討し、入居者の生活のペースを重視した支援を行った。

事故においては、リスク委員会を中心にした情報共有と研修開催で予防に努めた。

感染対策においては、職員と利用者数名が新型コロナウイルスに罹患したが、対策の徹底（マスク着用や手指消毒、定期的な換気、消毒など）により利用者への感染拡大を防ぐことができた。今後も職員全体で取り組んでいきたい。

最適なサービスの提供においては、人員不足の中多職種で協力し、ケアプランを継続的に見直し実施につなげた。

看取り介護においては、入所者や家族の意向に沿って看取り介護加算を、1事例取得することができた。

・地域福祉の拠点となる活動を実施する

感染対策を実施した中で、実習生の受入れを行った。

従来型特養と一体的に取り組み、地域の関係機関と連携し、緊急の対応も柔軟に行った。

・優秀な福祉人材を育成する

研修については、外部の研修はWeb研修を活用するなどして参加することができた。また外部から講師を招き施設内での研修や、委員会主導の研修を計画的に実施した。

・人が活きる職場環境を整備する

令和6年度においても職場環境の改善策として、電動ベッドを増加導入し、労働環境の改善を図った。

・安定した経営を継続する

今年度の平均稼働率は94.4%（目標95%、令和5年度実績96.6%）と目標には届かなかった。昨年度に比べ空床数は43日減少することができたが、入院日数が225日増加した。

・業務管理体制（法令等遵守）を徹底する

尊厳の視点に立って、虐待防止においては研修の実施、身体拘束はゼロ、不適切ケアにおいても研修等で振返りを行なうことで、権利擁護に努めた。

安全対策においては消防避難訓練及び地震対応訓練を定期的に実施した。

1 入所者の状況

特別養護老人ホームのぞみ荘・地域密着型 特別養護老人ホームのぞみ荘

【入退所状況】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
入所者	3	2	5	1	2	1	0	1	2	0	1	1	19
退所者	3	2	1	2	2	0	0	1	2	1	1	0	15

【介護度別入所者延べ人数】

従来型(50)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要介護1	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365
要介護2	90	93	90	93	93	90	93	90	124	124	112	124	1,216
要介護3	279	314	337	310	270	300	287	291	330	372	364	403	3,857
要介護4	605	688	661	687	711	732	806	724	685	668	588	651	8,206
要介護5	210	237	221	306	312	280	222	330	320	286	302	341	3,367
稼働率	80.9	87.9	93.3	92.1	91.4	95.5	92.8	97.7	96.1	95.5	99.6	100.0	93.6
地域密着型(20)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要介護1	0	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	335
要介護2	30	31	60	62	62	60	62	60	62	62	56	62	669
要介護3	257	203	194	205	186	180	178	143	186	175	159	241	2,307
要介護4	120	149	133	137	136	96	101	110	112	124	94	57	1,369
要介護5	150	155	145	144	160	185	209	210	217	217	177	217	2,186
稼働率	92.8	91.8	93.7	93.4	92.7	91.8	93.7	92.2	98.1	98.2	91.8	98.1	94.0

注) 入所者数は、医療機関への入院者は除く

【要介護度】

令和7年3月31日 現在

	1	2	3	4	5	平均要介護度
従来型	1	4	13	21	11	3.74
ユニット型	1	2	8	2	7	3.60
合計	2	6	21	23	18	3.70

II 短期入所(ショートステイ)の状況

※定員は20名ですが人員配置のため10人の入所制限をしています

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年平均
利用人数	14	15	11	12	22	20	19	19	19	19	19	18	17.3
利用延べ日数	256	188	240	228	342	324	347	391	415	412	314	368	318.8
人数/1日	8.5	6.1	8	7.4	11	10.8	11.2	13	13.4	13.3	11.2	11.9	10.5
平均介護度	3.24	3.06	3.46	3.24	2.81	2.82	2.82	2.75	2.79	2.02	2.68	2.90	2.88
稼働率	42.7	30.3	40.0	36.8	55.2	54.0	56.0	65.2	66.9	66.5	56.1	59.4	52.4

在宅支援部
ケアハウス オパール

- ・利用者の意思を尊重した質の高いサービスを提供する
 - ・コロナ感染者がでたが、早期に感染対策行い拡大を防ぐことができた。
またコロナが5類になったが消毒や換気など感染対策を継続しています。
 - ・昼食会や月一回のお茶会を行い入居者同士・職員との交流が図れるよう努めました。
 - ・できる限り入居者の話を傾聴し、声掛けを行うなど信頼関係の構築に努めました。
- ・優秀な福祉人材を育成する
 - ・感染者が出たり職員不足で参加出来ないこともあったが、内部研修に1名は参加し学んだ研修内容は職場内で周知しました。
 - ・動画を見ての研修を行ったり、実際に感染者が出た時の対応で反省点があれば相談し、その都度修正をし次に生かす努力をしました。
 - ・常に新しい技術と知識の更新に努めました。
- ・業務管理体制（法令等遵守）を徹底する
 - ・身体拘束・高齢者虐待の指針作成を行い、重要事項説明書も改訂し入居者や家族に周知しました。
 - ・委員会の設置・担当者を配置し研修参加や資料を読み込むことで、法令遵守に対する知識を得て遂行していくよう努めました。
 - ・BCPは随時現状に即した内容になるよう見直し、市への報告も行っています。
 - ・分からないことは上司や市へ聞くことにより、正確な業務管理に努めました。

I 入居者の状況

ケアハウスオパール

【入居状況】

延べ人数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
男 性	197	186	180	186	184	150	155	150	155	155	145	155	1,998
女 性	246	279	270	279	279	270	300	300	310	310	266	288	3,397
合 計	443	465	450	465	463	420	455	450	465	465	411	443	5,395
稼働率	98.4	100.0	100.0	100.0	99.6	93.3	97.8	100.0	100.0	100.0	94.5	95.3	98.2

【退居状況】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
男 性	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2
女 性	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
合 計	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	3

【年齢構成】

令和7年3月31日 現在

年 齢	60～70歳	71歳～80歳	81歳～90歳	91歳以上	合 計
人 数	0	5	7	3	15

II 介護状況

【要介護度】

令和7年3月31日 現在

介護度	非該当	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
人 数	2	1	3	7	1	1	0	0	15

【介護サービス利用状況】 令和7年3月31日 現在

介護サービス	ホームヘルプサービス			デイサービス	デイケア	福祉用具 レンタル	訪問看護
	生活援助	身体介護	介護タクシー				
利用人数	10	3	5	5	6	12	7

在宅支援部
デイサービスセンター オパール

・利用者の意思を尊重した質の高いサービスを提供する

週1回のミーティングを通して日々の業務の振り返りを行う中で、質の向上への取り組みを継続しています。職員と利用者との日々のコミュニケーションの中から、ニーズを聞き取り、日々の活動プログラムや季節行事の企画への反映を行うことにより、利用者の満足度を高めています。

・地域福祉の拠点となる活動を実施する

実習生はもとより、福祉職場インターシップ事業、夏のボランティア体験事業の受け入れなどを通し、地域福祉の拠点となる活動を継続しています。ボランティア活動の受け入れを積極的に行うことにより、利用者と地域との交流機会を提供しています。

・優秀な福祉人材を育成する

認知症実践者研修やレクリエーション研修などの外部研修、介護福祉士の資格取得を目指し、実務者研修へ参加しました。社内研修の参加やミーティング時に行う勉強会を通して、継続的に学ぶ機会を得ることができました。実習生の受け入れによりコーチングスキルの向上につながりました。

・安定した経営を継続する

令和6年度の目標である70%以上は達成できなかったものの、68.0%と前年の67.5%を上回る結果となった。地域のケアマネージャーや関連事業所への訪問を中心に、効果的な営業を継続する共に、他事業所との差別化、強みを意識した取り組みを検討しています。

・業務管理体制（法令等遵守）を徹底する

各種委員会活動や身体拘束、虐待研修など社内研修を通して、日常業務の判断基準の依拠となる知識を習得する。現場では利用者の安心、安全を最優先に職員がお互いに声を掛け合いながら、ヒヤリハット報告書を積極的に記入することにより、「事故0」を目指していきます。

1 利用者の状況

デイサービスセンターオパール

【利用状況】 延べ人数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要支援1	0	0	0	0	0	0	2	5	4	4	4	3	22
要支援2	20	23	22	20	28	26	26	31	30	26	33	29	314
要介護1	183	201	232	203	225	204	210	216	202	202	211	226	2,515
要介護2	68	72	64	66	76	79	104	123	106	85	97	90	1,030
要介護3	39	46	44	42	33	31	41	38	33	32	22	20	421
要介護4	0	9	9	9	0	0	0	0	0	0	0	0	27
要介護5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	310	351	371	340	362	340	383	413	375	349	367	368	4,329
営業日数	20	23	22	21	23	21	22	22	21	20	21	21	257
稼働率	62.4	61.2	67.6	64.8	62.8	64.8	69.6	75.2	71.6	70	70	70	67.5

【年齢構成】 令和7年3月31日 現在

年 齢	40～64歳	65～69歳	70～79歳	80～89歳	90歳以上	合 計
人 数	0	1	3	19	15	38

【要介護度】 令和7年3月31日 現在

介護度	要支援1	要支援2				
人 数	1	4				
介護度	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合 計
人 数	21	9	3	0	0	33

在宅支援部
オパール居宅介護支援事業所

・利用者の意思を尊重した質の高いサービスを提供する

「主な日常生活上の活動」（起床時間や食事時間等の 1 日の過ごし方）の把握を進めたが新規利用者を中心に全員分は作成できていないので、引き続き作成することで個別性の高いケアプラン作成を目指します。

・地域福祉の拠点となる活動を実施する

地元町内会の夏祭りに法人の一員として参加はしたが居宅事業所として地元住民からの講演要請等はありませんでした。

・人が活きる職場環境を整備する

令和 6 年度中に 26 件の研修に参加し、目標としていた医療系の研修に 9 件参加することができました。

・安定した経営を継続する

定期的に高齢者支援センターや医療機関の退院支援担当者への営業は続けています。業務効率化を目的に「ケアプランデータ連携システム」の導入を検討したが、周辺地区の他事業所が導入を見合わせており費用対効果が少ないため令和 6 年度の導入は見送りました。

I 利用者の状況

オパール介護支援事業所

【年齢構成】 令和7年3月31日 現在

年 齢	～64歳	65～69歳	70～79歳	80～89歳	90歳以上	合 計
人 数	0	2	10	34	12	58

【要介護度】 令和7年3月31日 現在

介護度	介護予防	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
人 数	21	20	11	4	0	1	57

【月別利用者数】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
介護給付	19	20	19	19	20	20	20	19	19	17	19	21	232
介護予防	31	32	33	34	33	31	32	33	33	36	36	36	400
総合事業	5	5	5	5	5	5	5	5	5	4	4	5	58
計	55	57	57	58	58	56	57	57	57	57	59	62	690

II サービス利用状況

令和7年3月31日 現在

種 類	訪問介護	通所介護	短期入所	福祉用具貸与	その他	合 計
人 数	19	18	3	23		63
うち淳邦会利用		9	1			10

在宅支援部
福田高齢者支援サブセンター

・利用者の意思を尊重した質の高いサービスを提供する

水島地区の高齢者支援センター合同で雛巡りの期間に移動相談会と作品展を4年ぶりに開催することができ、多くの地域の方や高齢者に参加していただくことができた。地域の方の行っているサロンや通いの場にも今後参加していきたいと思っている。また、実態把握調査時にはフレイル予防のチラシやその時期に合わせた情報発信ができるチラシを持って訪問することができた。今後も困りごとだけではなく地域での楽しみの場を紹介できるよう情報を収集し発信したいと考えている。

・地域福祉の拠点となる活動を実施する

ケアマネ交流会に参加することで地域のケアマネや医療関係者と顔を合わせて一つのテーマに合わせて意見交換する場を持つことができた。地域の自分から声をあげられない人の早期発見・対応という目標は支援センターの職員だけでは踏み込めない多問題を持つケースもあり、今後も様々な専門職や地域の方との連携が求められると考えている。

1 総合相談事業等実績報告

倉敷市福田高齢者支援サブセンター

	電話	来所	訪問	その他	合計
介護予防事業	0	0	0	0	0
総合事業	2	0	0	0	2
予防給付	0	0	0	0	0
権利擁護	0	0	0	0	0
高齢者虐待					
身体的	0	0	0	0	0
経済的	0	0	0	0	0
精神的	0	0	0	0	0
性的	0	0	0	0	0
介護放棄	0	0	0	0	0
福祉相談・手続代行	23	11	39	0	73
介護保険・手続き代行	15	1	4	0	20
健康・医療	18	3	37	0	58
高齢者以外を対象	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
合 計	58	15	80	0	153

在宅支援部
グループホーム ひなぎく

・利用者の意思を尊重した質の高いサービスを提供する

日々の健康チェックと感染対策を継続して行い、発症者はみられなかった。
ご家族との面会や外出が可能となったことで、入居者の楽しみも増え、施設の様子に活気が戻ってきたように思われる。入退所が多かったため、個別に一層の支援計画を早目に見直していきたい。

・地域福祉の拠点となる活動を実施する

感染症の影響により、運営推進会議が中止となってしまった。そのため他の施設との関わりも止まり、文章交換のみであった。今年度より再開し、交流を深めて行きたい。実習生の受け入れは通常通り継続できた。今後は、ボランティア等の受け入れも再開予定である。

・優秀な福祉人材を育成する

施設内研修には、可能な限り進んで参加出来た。研修で得た情報は職場へ持ち帰り、ミーティング内で議題に取り上げ共有している。3ヶ月に1度身体拘束、年に2度虐待防止の勉強会を繰り返し行い、介護や接遇に対して意識を高めることが出来た。今後は、入居者の高齢化が進むにつれて高まるリスクや、食事内容についての学習も強めていきたい。昨年11月に入社した特定技能実習生が、スムーズに業務をこなせるよう指導していきたい。

・安定した経営を継続する

空室状況を考え入居相談に適切な対応を行い、早期の申し込みにつなげた。
年度前半にケガによる入院者が重なり、利用実績は低下し目標稼働率の95%に達することができず、平均稼働率は93.2%となった。今後は申込み者に継続的に連絡を行うことで入居希望を継続してもらい、決定後はスムーズに入居できるよう他部署との連携を強化していきたい。

・業務管理体制（法令等遵守）を徹底する

業務の流れや災害時の対応等を、マニュアルの見直しと業務連絡ノート等を活用することで、正確に行動出来るようになった。今後も、入居者が穏やかに生活でき職員が働きやすい職場であるよう、法令を遵守しながら日常業務に努めたい。

1 入居者の状況

グループホームひなぎく

【入居状況】 延べ人数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要介護1	90	102	103	124	152	158	186	150	155	155	145	124	1,644
要介護2	145	124	120	124	98	90	116	101	129	155	145	139	1,486
要介護3	157	186	156	155	155	150	155	180	186	186	174	217	2,057
要介護4	0	31	30	31	8	0	0	0	0	0	29	31	160
要介護5	60	62	60	62	62	60	67	38	49	31	22	12	585
合計	452	505	469	496	475	458	524	469	519	527	515	523	5,932
人数/日	15.1	16.3	15.6	16.0	15.3	15.3	16.9	15.6	16.7	17.0	18.4	16.9	16.3
稼働率	83.7%	90.5%	86.9%	88.9%	85.1%	84.8%	93.9%	86.9%	93.0%	94.4%	102.2%	93.7%	90.3%

注)入院者は除く

【要介護度】 令和7年3月31日 現在

介護度 人数	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	平均要介護度
	0	4	5	7	1	1	2.33

【年齢構成】 令和7年3月31日 現在

年齢 人数	～64歳	65～79歳	80～89歳	90歳以上	合計
	1	1	12	3	17

- ・利用者の意思を尊重した質の高いサービスを提供する。

限られた職員配置の中で利用者の重度化や認知症を有する方へのケアの課題はありますが、権利擁護等の研修を行いました。引き続き、利用者の立場に立ち、職員同士が協力し合いながら、サービスの向上を目指します。

- ・地域福祉の拠点となる活動を実施する。

積極的に介護実習生やボランティア、チャレンジワーク14等を受け入れ、福祉人材を育てる機会や福祉施設について知っていただくことができました。また、地域との交流も少しずつ再開し、ニーズに沿った活動を継続していきたい。

- ・優秀な福祉人材を育成する。

外部講師による施設内研修を定期的に行ったり、外部研修やWEB研修への参加も増え、自己研鑽に努めることができた。また、ユニットリーダーや実習指導者、認知症対応型サービス事業者管理者等の研修を受講していただき、職員のスキルアップもできた。

- ・安定した経営を継続する。

ホームページやSNS等を活用し、積極的に情報を発信したが、なかなか人材確保に繋がらなかった。再度、情報内容や発信方法の見直しを行い、「選ばれる法人」となるよう努めていきたい。

- ・業務管理体制（法令等遵守）を徹底する。

入職時に研修を行い、社会福祉法人の職員としての法令やルールを理解していただいた。今後も実践できるような研修を行い、柔軟に対応できる組織作りを目指したい。

- ・人が活きる職場環境を整備する。

令和6年度入職者を対象に入職後のアンケート調査や面談を行った。入職後の部署内での役割や将来像の提示を行い、引き続き、前向きに働ける環境整備に取り組んでいきたい。